



データ処理補足契約書

本データ処理補足契約書（以下「DPA」）は、本契約で特定されている当事者（以下「お客様」）と VMware との間で締結された本契約の一部を構成し、(i) VMware が、本サービスを提供する過程においてお客様に代わって個人データを処理する場合で、かつ (ii) 本 DPA が参照することにより本契約に明示的に組み込まれている場合に限り適用されます。VMware が管理者である場合、本 DPA は適用されません。本 DPA において定義されていない定義用語はすべて、本契約において規定された意味を有します。

1. 定義

1.1 「本契約」とは、お客様への本サービスの提供について、お客様と VMware との間で書面または電子的な方法で締結された契約を意味します。

1.2 「管理者」とは、個人データの処理の目的と手段を決定する事業体を意味します。

1.3 「データ保護法」とは、本契約に基づく個人データの処理に適用されるデータ保護およびプライバシーに関するすべての法律を意味します。適用される場合、これには EU データ保護法が含まれます。

1.4 「EU データ保護法」とは、(i) 2018 年 5 月 25 日より前は、個人データ処理に係る個人の保護および当該情報の自由な移動に関する欧州議会および理事会の指令 95/46/EC（以下「指令」）、ならびに (ii) 2018 年 5 月 25 日以降は、個人データの処理に係る自然人の保護および当該情報の自由な移動に関する欧州会議および理事会の規則 2016/679（一般データ保護規則）（以下「GDPR」）を意味します。

1.5 「EU モデル条項」とは、決定 C（2010）593 にしたがって欧州委員会により承認された処理者に関する標準契約条項を意味します。当該条項は随時、修正または置き換えられることがあります。

1.6 「個人データ」とは、本契約で定義されたコンテンツに含まれている、識別されているまたは識別可能な自然人に関連するあらゆる情報を意味します。

1.7 「個人データ侵害」とは、個人データに対する、偶発的または違法な破壊、損失、変更、不正開示、またはアクセスにつながる、本サービスのセキュリティに対する侵害を意味します。

1.8 「処理者」とは、管理者に代わって個人データを処理する事業体を意味します。

1.9 「本サービス」とは、本契約にしたがって VMware がお客様に提供するすべてのクラウド サービスまたはカスタマー サポート サービスを意味します。

1.10 「復処理者」とは、本契約にしたがって個人データを処理する、VMware またはそのグループ企業のいずれかによって起用されたすべての処理者を意味します。復処理者には、第三者または VMware グループ企業が含まれる場合があります。

2. 処理

2.1 両当事者の役割 VMware とお客様の間では、VMware は、お客様の代わりに行動する処理者としてのみ、本契約に基づく個人データの処理を行います。お客様は、個人データに関して管理者または処理者となる場合があります。

2.2 お客様による個人データの処理 お客様は、本サービスを利用する際、お客様による個人データの処理およびお客様が VMware に出す処理の指示に関して、データ保護法に基づく義務を遵守するものとします。お客様は、VMware が本契約にしたがって個人データを処理するために必要となるすべての権利および承認をお客様が有していることを表明するものとします。

2.3 VMware による個人データの処理 VMware は、データ保護法に基づく処理者の義務を遵守し、お客様の指示にしたがって個人データを処理するものとします。お客様は、個人データの処理に関して、本契約がお客様から VMware に対するすべての、かつ最終的な指示であることに同意するものとします。本契約の範囲外で個人データを処理するには、本契約の書面による修正という方法で VMware とお客様との間で書面により事前に合意する必要があり、これには、かかる指示の実施についてお客様が VMware に支払うあらゆる追加料金に関する合意が含まれるものとします。お客様は、VMware がお客様の合理的な指示に従うことを拒否した場合、かかる指示が本契約の範囲外であるか、本契約の規定または合意内容から変更されたものであっても、お客様によるデータ保護法の遵守を可能とするために必要である限りは、書面で通知することにより本契約を解除できるものとします。

2.4 個人データの処理の詳細

2.4.1 対象 本契約に基づく処理の対象は個人データです。

2.4.2 期間 本契約に基づく処理の期間は、お客様および本契約の規定によって決定されます。

2.4.3 目的 本契約に基づく処理の目的は、本契約に規定されているとおり、VMware によるお客様に対する本サービスの提供です。

2.4.4 処理の性質 本契約記載のとおり、VMware および/またはその復処理者が本サービスの提供またはお客様に対する契約上の義務の履行を行います。本サービスには、VMware および/またはその復処理者による、個人データが含まれる可能性があるシステムでの個人データの処理が含まれる場合があります。

2.4.5 データ主体のカテゴリ お客様のデータ主体には、お客様のエンドユーザー、従業員、契約者、供給業者、その他の第三者が含まれる場合があります。

2.4.6 データのカテゴリ お客様により本サービスに提供される個人データ。

3. 復処理

3.1 復処理者の利用 VMware は、特定のサービスを自社に代わって提供する復処理者を起用します。お客様は、VMware が本契約に基づく個人データの処理のために復処理者を起用することに同意するものとします。VMware は、本 DPA に基づく VMware の義務違反を生ぜしめる復処理者の作為、過失、不作為について責任を負います。

3.2 義務 VMware は、各復処理者と契約を締結し、本契約に定める基準（復処理者により提供されるサービスに適用される場合に限る）と実質的に同等の方法で個人データを保護することを復処理者に義務付けるものとします。

4. セキュリティ対策

4.1 VMware によるセキュリティ対策 VMware は、個人データ侵害から保護するため、ならびに本サービスの提供に際してお客様に代わって VMware が処理する個人データのセキュリティおよび秘密性を保持するために、適切な技術的および組織的なセキュリティ対策（以下「**セキュリティ対策**」）を導入および維持します。セキュリティ対策は、技術的に進歩および発展に従うものとします。VMware は、セキュリティ対策の更新および変更を随時行うことができます。ただし、かかる更新または変更の結果お客様が購入した本サービスの全体的なセキュリティが低下しない場合に限るものとします。

4.2 お客様によるセキュリティ対策 お客様には、お客様がデータ保護法を遵守できるような方法で本サービスを利用および構成する責任があるものとします。これには、適切な技術的および組織的な対策を導入することが含まれます。

4.3 担当者 VMware は、担当者が許可なく個人データを処理することを制限し（適用法により処理が求められている場合を除く）、VMware が個人データの処理を許可したすべての人員に秘密保持義務を負わせるものとします。

4.4 禁止データ お客様は、本契約によって特定の種類の個人データ（個人の財務または健康に関する情報など）について本サービスへの提供が禁止される場合があることを認め、これに同意するものとします。お客様は、米国の医療保険の携行性と責任に関する法律（Health Insurance Portability and Accountability Act）により規制されている個人データを本サービスに提供してはならないものとします。ただし、お客様が VMware と事業提携契約を結んだ場合はこの限りではありません。

5. 個人データ侵害への対応

個人データ侵害を認識した場合、VMware は、過度の遅滞なしにその旨をお客様に通知し、お客様からの合理的な要請に応じて当該個人データ侵害に関連する情報を提供します。VMware は、個人データ侵害の悪影響を可能な範囲で軽減するために、お客様を支援する合理的な努力をいたします。

6. 監査報告

VMware は、VMware のデータ保護および情報セキュリティ基準の遵守状況について定期的に監査を実施します。かかる監査は、VMware の内部監査チームまたは VMware に委託された第三者によって実施されます。具体的な監査ならびに VMware が受けているデータ保護および情報セキュリティ認定は、対象となる本サービスの性質によって必然的に異なります。VMware は、VMware が本 DPA を遵守していることをお客様が確認できるように、お客様の書面による要請に応じて、秘密保持義務に従うことを条件として、関連する最新の監査報告書および/またはお客様から合理的に要求された、VMware が顧客に通常公開しているその他の文書をお客様に提供します。

7. データの移転とエクスポート

7.1 データ移転 VMware は、本契約で規定された本サービスを提供するために必要に応じて、VMware またはその復処理者がデータ処理業務を行っている世界中の他の拠点に個人データを移転し、そこで処理できるものとします。

7.2 欧州経済領域およびスイスからのデータ移転 両当事者は、処理者として処理する個人データに関する拘束的企業準則（以下「BCR」）の承認を VMware が受けたことを認めます。VMware の BCR は <https://www.vmware.com/jp/help/privacy/binding-corporate-rules.html> でご確認いただけます。また、VMware が承認を受けた証拠は、欧州委員会の Web サイト http://ec.europa.eu/newsroom/article29/item-detail.cfm?item_id=613841 に掲載されています。VMware は、本 DPA に基づき処理のために VMware へ移転された欧州経済領域（英国を含む）またはスイスの個人データのすべてを、VMware の BCR に従って処理します。これには、かかる個人データを欧州経済領域の外で VMware、VMware のグループ企業、VMware が指名した復処理者のいずれかが処理する場合を含みます。

8. データの削除

VMware は、本契約の満了または解除後、本契約に規定されているとおり、VMware が保有するすべての個人データを削除するか、お客様に返却します。ただし、適用法によって VMware が個人データの一部またはすべてを保持することが求められている範囲においては、この限りではありません（その場合、VMware は、データを保管し、個人データにそれ以上の処理が行われないように合理的な対策を講じます）。かかる個人データには、本 DPA の条件が引き続き適用されます。

9. 協力

9.1 データ保護の要請 EU データ保護法に基づく権利を行使しようとしている個人からの要請など、本契約に基づく個人データの処理に関連して、VMware が個人または関連データ保護当局から要請を受けた場合、VMware は当該要請を直ちにお客様に取り次ぎます。こうした要請に対して、お客様の事前の許可なしに VMware が直接対応することはありません。ただし、対応することを法的に強制されている場合を除きます。VMware が当該要請に対応する必要がある場合、VMware は、法律により禁じられている場合を除き、直ちにその旨をお客様に通知し、当該要請のコピーをお客様に提供します。

9.2 お客様の要請 本契約に基づく個人データの処理に関連して個人または関連データ保護当局から要請があった場合、お客様が本サービスを利用する際に関連する個人データにアクセスできない場合に限り、VMware は、お客様が当該要請に対応できるように、お客様の費用負担で、合理的な範囲でお客様に協力します。

9.3 DPIA および事前の協議 EU データ保護法で求められている場合に限り、VMware は、合理的な通知に応じてお客様の費用負担で、お客様がデータ保護影響評価 (data protection impact assessments) (以下「DPIA」) および/またはデータ保護当局との事前の協議を実施できるように、本サービスに関する合理的に要請された情報を提供します。

9.4 法的開示要請 本 DPA の対象となる個人データについて、法的に拘束力のある開示要請を VMware が受け取った場合、かかる要請は本契約にしたがって処理されます。

10. 一般条項

10.1 本契約との関係 本 DPA に基づいてなされたあらゆる請求には、本契約に規定されている除外および制限を含めて、本契約の条件が適用されます。ただし、いかなる場合も、本 DPA または適用法に基づく個人のデータ保護の権利に関する本契約におけるいずれの当事者の責任も制限するとはみなされません。

10.2 抵触 本 DPA と本契約のプライバシーに関連する規定が抵触している場合、本 DPA の条項が優先されます。

10.3 変更と補足 VMware は、以下のいずれかの場合などに、本契約で規定されているとおり本 DPA の条件を変更できるものとします： (i) 監督機関またはその他の政府もしくは規制当局により変更するよう求められた場合、(ii) データ保護法を遵守するために必要がある場合、(iii) データ保護法で認められている、標準契約条項、承認済みの行動規範や認証、拘束的企業準則、その他法令遵守メカニズムを導入するかそれに従う場合。補足的な条件が本 DPA の別紙または付属書として追加される場合があります。その場合、かかる条件は、特定の国または法域のデータ保護法のもとでの個人データの処理にのみ適用されます。VMware は、このような変更についてお客様に通知します。変更後の DPA は、本契約の条件にしたがって、または本契約で規定されていない場合は VMware の Web サイトに別途記載されているとおり有効となります。